

第1回勉強会のおさらい

08/05/03

文責：中野敦子

☆ **世界中のトイレを持っていない人々を救うために、目標を作ろう！**

⇒ ミレニアム開発目標¹：(①MDGs) 以下ターゲット 11 より抜粋

2015年までに、衛生施設(=トイレ)を
継続的に利用できない人々の割合を② **半減** する。

もし、この目標が達成されたら…？

① 健康面への良い効果

トイレの整備や手洗いによって、下痢の発生率や死亡率を下げる！

② 教育面への良い効果

学校にトイレを整備したり、男女でトイレを分けたりしたら、
特に女子の出席率がUPした！

③ ジェンダーへの良い効果

トイレを設置することによって、女性のプライバシーを守る！

④ 環境面への良い効果

トイレの整備により、排せつ物による川や海の水質汚染を防ぐ！

⑤ 経済面への良い効果

トイレを整備→病気にかからない→仕事ができる→生産能力UP→経済発展も可能！

**しかし！ MDGsの衛生面の目標は、
このままでは2015年に達成できない！**

どうしてだろう？

¹ Millennium Development Goals 2000年のミレニアムサミットで採択された。飢餓撲滅、初等教育の普及達成など8つのゴールにより構成され、これらの達成による**貧困削減を目的**としている。詳細はBG本編のp22を参照願いたい。

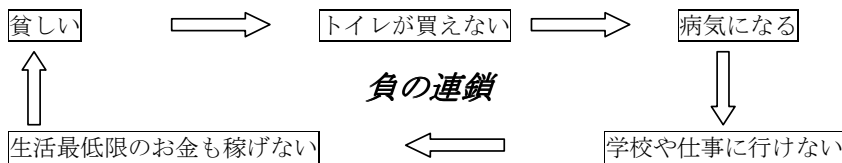
② サハラ以南アフリカ ²は特に悪化

← 衛生環境が悪い地域の開発プロジェクトで衛生面の改善を重視していないから

(政府の役人など、トップの人の決定の影響力は大きい。政府の役人がトイレは重要と思うべきなのに…)

- ・トイレをつくるよりも、工場をバンバン建てて経済発展させたい!
- ・トイレが必要な③ 貧困層 (女性や子ども) のことなんか無視でOK!
(もっと富裕層と仲良くなろう…)

貧しい人がトイレを買えないとどうなるの?



じゃあどうしたら良いの?

トイレ³の様な、人間に最低限必要なもの=④ BHN ⁴を満たせば、貧困削減につながる!

☆ 政府の役人がトイレは重要と考えて、方策を取る = トップダウンが大事

☆ トイレが必要な貧しい人の意見を反映すれば効率的・効果的 = ボトムアップが大事

⇒ トップダウンとボトムアップは両方大事!!!

コメント [中野敦子1]: 具体的にどのようなものか?
⇒ 選挙、コミュニティレベルで開く協議会の結果を行政がくみ取るなど

今日のプレゼン予告

- ・今まで、歴史的にどのように貧困削減の方策(援助)が取られてきたかを知る
→ 問題点を洗い出し、改善に導く(担当: 中 伊世)
- ・援助の基礎知識を元に、衛生面の改善方法を考えてみよう!(担当: 木村 愛里)

注目のキーワードは
☆グッドガバナンス
☆PRSP

² 2004年度のサハラ以南アフリカにおける人口当たりのトイレの普及率は37%で、世界中で最も低い。MDGsの衛生面を達成するためには、この普及率を66%にまで引き上げる必要がある。

³ 他には、水、衣服、食糧、住居など

⁴ Basic Human Needs 人間の基本的欲求